

**山梨県歯科医師連盟****連盟ニュース 第34号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1  
TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854□発行人 内藤 敏雄 HP : <http://ydca.jp>

□編集人 鶴田 好幸 岩間 宣仁

山梨県歯科医師連盟機関紙

**平成 24 年度 関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会**

連日猛暑の続く中、7月26日(木)埼玉県パレスホテル大宮において24年度の関東地区歯科医師連盟役員連絡協議会が開催された。当県より、内藤会長、渡辺副会長、諸角理事長、鶴田副理事長の4名が参加した。連盟役員協議会に先立ち全体協議会が開かれ、メインテーマである『歯科医療から価値ある社会貢献』について当番県である埼玉県歯科医師会の島田篤会長は、冒頭の挨拶の中で『高齢社会の中で歯科医療が社会から求められているもの価値ある社会貢献をあらためて問い直す認識の基に設定した』と説明した。

連盟役員協議会では今回初の試みとしてランチョンセミナーが行われ、日歯税務委員会委員長の中村勝文先生が『社会保障、税一体改革と社会保険診療に関わる消費税』講演された。資料を基に充実した内容ある講演であった。その後、連盟協議会が開かれ、『次期参議院選挙の対応について』を協議議題として協議を行った。発言要旨を当番県がまとめを発表した。

<全体協議会発表 連盟協議会まとめ>

来年の夏に行われる参議院に職域代表として候補者を擁立する事の決定をうけ、各県歯連盟より候補者の選考ならびに選挙戦における対応について意見交換など協議を行った。

現在の歯科界の山積みした諸問題の解決のためにも、また質の高い国民歯科医療を提供するためには、専門家として行政への提言とロビー活動が不可欠である。歯科界を代表する候補者をたてて参議院選挙を戦うことで意見は一致した。日歯連盟ならびに選考委員会には人物の資質を最優先にした、多くの会員が納得し、支援できるような候補者のすっきりした選考をお願いしたい。さらに、最も重要な事は、決定した候補者を歯科界の代表として当選に向け、会員ならびに歯科医療関係者の選挙に対する意識の向上と結束が必要であり、全員に対する働きかけが重要である事を再確認した。

**横内知事を囲む会『正歯会』開催される**

平成24年6月23日(土)アピオ甲府にて横内知事を囲む会が開催された。冒頭横内知事は県政に対して歯科医師会の協力、支援に謝辞を述べた。また、歯科医師会とがん治療に関して県立中央病院との連携がされたこと、富士東部の健康センターの建設が進んでいること、4月より健康増進課に歯科医師を迎える事ができ、8020運動などの県歯科行政の中心的役割を果たしていただきたいなどの近況について触れた。その後、事前質問に考える形で県政報告、並びに県の将来構想などについて語った。また、懇親会では知事は全テーブルを回り、出席者と親睦を深めた。(以下要旨)

**1. 県の将来構想**

中央道の渋滞緩和、東部富士五湖道路須走から先の渋滞の緩和(後8年かかる)中部横断道道路の開通に後5年程かかる。リニア開通に14年かかる。これらが整備されると、山梨の活性化が見込める。ただ開発するだけでなく、自然環境の美しさを保ちながら、おもてなしのこころを持ちやっていくことが必要。

**2. 富士山の世界文化遺産登録**

一人一人が富士山大使として、車にステッカーを貼るなど協力をお願いしたい。富士山が爆発するかもしれないという報道もあるが、地震の専門家や火山活動専門家の意見を聞いているが、今すぐ爆発するという情報はない。地震と違って噴火は突然起こる訳ではなく、1週間から2週間前より兆候があり、避難する時間はある。行政は万が一に備えて対策を進めている。

**3. 甲府駅周辺の再開発**

甲府市のためだけでなく、県全体の活性化を図るためこれを整備していく必要がある。甲府駅南口の整備は、かいじ国体以来の事であり、5年の間に整備していく。

**4. エネルギー対策**

原発の事故以来、反原発が高まっている。原発は世論が二分されているが、一つの方向に向かっているように見える。時間軸で考える必要がある。今原発は稼働しておらず、電源の安定的供給できない状態である。計画停電で企業は苦勞し、電力の重要性を痛感した。不安定のままだと企業は生産拠点を移すであろう。安全を確認しつつ、必要なものは稼働して行く。しかし、そのまま良いと言う訳ではなく、30年、40年の間には脱原発にしていかなければならないだろう。再生可能エネルギーの導入を図り、30年、40年後には脱原発にしていかなければならない。